

2020 年度国際ユース作文コンテスト

【子どもの部】 入選

## 2030 年の私からの手紙

(原文は英語)

タリーゼ・チャン・ルオ・イー (9 歳)

シンガポール

ナン・フア小学校

タリーゼへ

私は 2030 年の未来のあなたです。時をこえて電子メールを送るのは今回が初めてです。信じられないだろうけど、読んでください。

昨年 12 月、私たちのチームは、時をこえてメールを送ることのできるコードを発明しました。すごいでしょ？ 私たちは今、過去の自分と未来の自分にメールを送っています。あなたのことはよく知っていますから、きっと今ごろ興味しんしんのはずです。

あなたの未来について話します。私たちの両親はまだ生きていて、休むことなく働いています。父のことをよく知っている私としては、今の生活は父が望んでいたものとはまったく違うと思うのですが、今の生活費は 2020 年よりも高いのです。10 年前とは異なり、今の高齢者は若い働き手と同じくらい生産性があります。ですが、彼らはフードコートの清そう員として働くことはもうありません。私たちの国では、自分たちが使った食器は自分たちで片付ける習慣が定着し、利用者も使った場所をきれいに保つように協力するようになったからです。

ロボットが世界を乗っ取るかもしれないと怖がっていたことを覚えていますか。実は今、そうなりつつあります。フードコートや屋台市場は完全に自動化されて、肉体労働や食事の調理販売は、ほとんどがロボットの仕事です。そういえば、母が昔、フードパンダやデリバリーのアプリで宅配フードを注文していましたね。2030 年の世界では、ドローンを使って食べ物を配達します。多くの仕事をロボットや自動システムが代わりにするようになりました。ありがたいことに、人の感覚や人間の判断が必要な仕事は、今でも人間の手で行われています。

どうして高齢者が今でも働いているのか不思議に思っているかもしれません。COVID-19 の流行後、さまざまなウィルスや、インフルエンザ、認知症、ガン、糖尿病といった病気の治療の研究に、たくさんのお金が使われました。人間も適応して、今では 100 歳ぐらいまで生きて、85 歳ぐらいまで働くのが普通です。高齢者のほとんどが健康なままなので、昔よりも長く働いています。世界的に出生率が下がるにつれて、高齢者の労働力が必要とされるようになりました。働き方も昔より柔軟になり、在宅勤務かオフィス勤務かを選ぶことができます。

幸いなことに、社会的能力を身につける必要のある子どもたちにとって、ずっと家にいるというわがままは許されません。もっと楽しく学習できるように、生徒は皆、教科書がつまったカバンの代わりに、ホログラムが見られるアイパッドを学校に持っていきます。また、小学生が受ける主な学年試験はすべて 2025 年になくなりました。つまり、今では小学校の卒業試験(以前は「全国统一卒業試験(PSLE)」と呼ばれていました)を受けるだけです。

試験があろうとなかろうと、大学に入ることができました。私と友達は、コーディングとエンジニアリングを勉強することにしました。今まで私は、ロボットが世界を乗っ取るのではないかとひどく心配していましたが、テクノロジーの一步先を行くのに役立つ発明の仕事であれば、簡単に取って代わられることはないと思いました。私の最初のプロジェクトでは、友達と一緒に、時をこえて電子メールを送るコードを開発しています。大学に入る前にインターンとして働いていたことがあるので、コーディングとエンジニアリングでは多少の実践的な知識があります。いずれにしても、人類に起こったあの最後の変化に比べれば、こうしたことは、どれもささいなことです。

あなたは今、COVID-19 に見舞われていますね。私たちがそのウィルスを怖がっていたことははっきり覚えています。ですが、どんなに苦しい時も明るい兆しは見えてきます。ウィルスがなくなった後、人々はそれまでよりも優しく、親切で、思いやりを持ち、寛大になりました。長い間家に閉じこもっていたので、当たり前だと思っていたことすべてに感謝の気持ちを持つようになりました。出かけたり、友達とおしゃべりしたり、チームで仕事をしたりといったささやかな喜びを失い、寂しい思いをしました。人々が気づいたのは、命はとてももろいということ、そして、精いっぱい生きて、命を大切にしなければならないということです。

コロナウィルスは事実、シンガポールの人々にとって考えさせられるきっかけとなりました。自給自足ができる国にならなければいけない、食料や生活必需品を確保するために外国だけに頼ってはいけないと学びました。あなたが 15 歳になった時、屋上や空き駐車場、学校内の空き地だったところにたくさんの庭が作られて、若い芽が伸びてくるのをあちこちで目にすることでしょう。

またメールを書きます。その間に、母に野菜づくりをはじめようをお願いしておいてください。

愛をこめて

2030 年のタリーゼ・チャンより